平成30年度 第1回 吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議
開催結果概要

1 日時・場所	
平成30年8月10日（金）13:30～15:15 ・ 中層棟4階 第4委員会室	
2 出席者	
<p>【出席委員】 北村委員長、寺本委員、高木委員、谷口委員、松井委員、脇阪委員、大林委員、池口委員</p> <p>【欠席委員】 なし</p> <p>【事務局】 稲田行政経営部長、淵上参事、宮崎主幹、東主査、荒尾主任、藤巻係員</p> <p>【関係室課】 別紙のとおり</p>	
3 案件内容	
<p>(1) 評価（検証）方法について</p> <p>(2) 評価結果について</p>	
4 主な質疑・意見等の内容	
北村委員長	<p>① 本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少に対し、どこに注力していくのかということを考え、幾つかのKPIを組み合わせる評価しなければならないと思う。</p> <p>② 北大阪健康医療都市における国際級の複合医療産業拠点の形成については、「開業率－廃業率」を指標にしているが、市民にとって分かりやすく、また、健都ができてよかったと思えるような指標を設定していただきたい。</p> <p>③ 本戦略にある様々な取組を行うことで本市がどうなっていくのかを、市民が把握できることは、大きな意義があると思う。今後、本市の目指す方向性がもう少し具体的に分かるように工夫していただきたい。</p>
寺本委員	<p>① ワーク・ライフ・バランスに関する啓発について、育児・介護休業制度を就業規則に記載している事業所の目標値が50%というのはかなり低いので、見直しが必要ではないか。</p> <p>② 子ども・子育て応援サイトのアクセス数については、年間12万件を目標としているが、平成29年度は大幅に目標を達成しているため、このままの目標を設定し続けるのはどうか。</p> <p>また、親子教室等の年間開催回数についても、220回を目標としているが、平成29年度は233回となっており、目標を上回っている。</p> <p>さらに、乳幼児健診（1歳6か月児健康診査）の間診で父親の育児参画について「よくやっている」と回答する人の割合が50%という目標に対し、平成28年度には60.8%となり、目標を上回っているため、同じ目標を設定し続けることはどうか。</p> <p>以上のほかにも、目標を達成しているような項目については、それぞれの部署で検討していただきたい。</p>

寺本委員	<p>③ 新生児訪問の実施率については80%を目標にしているが、平成29年度は54%となっており、目標を達成するための取組の強化が必要である。</p> <p>④ 数量的には測れない取組もあると思うが、新たな指標を設定し、取組を見える形にできれば、より分かりやすくなるのではないかと思う。</p>
高木委員	<p>① 本市では住宅開発に伴い、若い世代が増えているが、二、三十年後にはその世代も高齢者となり、高齢化率が高くなることも考えられる。そうならないためにも、子供に対する取組の充実が必要だが、現状は足りていないと思う。</p> <p>② SaBiC（サビック）では商工会議所の職員が支援を行っているが、本総合戦略に創業支援について記載するのであれば、市の取組としても、もっと力を入れていただきたい。</p> <p>③ 今回の大阪北部地震におけるブロック塀の問題でもそうだが、子供たちを取り巻く環境に目が向けられていないのではないか。将来を支える子供たちにもっと目を向けた取組を実施するべきではないか。</p>
谷口委員	<p>① 全国にある創業支援ネットワークの中でも、すいた創業支援ネットワークは非常に連携が図られ、成果が上がっており、取組をアピールしている。さらに、こういったネットワークで取り組んでいることを、市民へ広報することが必要ではないか。</p> <p>② 長期的な観点からは、若者や学生に対し、起業するマインドを教育することを考えていく必要があるのではないか。</p> <p>③ 北大阪健康医療都市における国際級の複合医療産業拠点の形成について、よりふさわしいKPIを設定できないのか。また、これまでの取組状況や今後の取組予定の中でもKPIについて触れられていないにもかかわらず、平成29年度の評価がBからAに上がっていて、違和感がある。もう少しKPIとの関連性を示せないか。</p> <p>④ ロードマップを示し、年度を追ってそのプロセスを市民に見ていただく工夫が必要ではないか。</p>
松井委員	<p>① 指標については、常に検証していく視点を全庁的に持ってほしい。</p> <p>② 本市には大学が多数あり、一時的に本市にいる若者を定着させることは一つのテーマであると思う。その若者に対し、本市の魅力をアピールすることが必要ではないか。市民に情報を取りにいかせるのではなく、市が与えていくような仕組みの構築や視点を持っていただきたい。</p>
脇阪委員	<p>① 本市は緑が多くて、災害が少ない、また大学が多いなどの魅力をもっとアピールすることが大切である。元気なまちにすること、つまり子供たちが成長していくことが本市の活性化につながると思う。そのための戦略をどう練っていくのが重要ではないか。</p>
大林委員	<p>① 戦略の検証に当たっては、他市との比較や、市民が見たときにどう捉えるか、どういう印象を持つかという観点で記載する方が伝わりやすいと思う。また、アクションプランや目標については、取組を行ったことよりも、その取組によってどうなったのかということを示すほうが市民に納得していただけたと思う。</p>

池口委員	① 現在、職場では人手不足の状況となっているが、一人でも多くの人にとって働きやすいまちにし、まちの価値を高めていただきたい。
------	--

吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議
【関係室課一覧】

部局名	室課名
総務部	危機管理室
都市魅力部	地域経済振興室 シティプロモーション推進室 文化スポーツ推進室
児童部	のびのび子育てプラザ 保育幼稚園室
福祉部	高齢福祉室
健康医療部	保健センター 北大阪健康医療都市推進室
学校教育部	指導室
地域教育部	青少年室